

耐候性ハウスによるミディトマトの栽培が始まっています



ミディトマトを定植する尾崎夫妻

J A 福井市は、平成27年度から29年度までの3か年間に、耐候性ハウス60棟を整備する計画を進めており、27年度は23棟を整備しました。

これらのハウスは、新規就農者や経営規模の拡大を行う地元農業者などに貸し出され、白方地区の主力品目である収益性が高いトマトとコカブの生産拡大を図り、新たな雇用の創出や県外からの定住の促進をねらっています。

平成26年度に白方地区にIターン就農した尾崎充弘さん(38歳)、美紀さん(38歳)ご夫婦は、40a規模の施設園芸(ミディトマト+コカブ)を目指し経営を開始されました。

集落の環境保全、獣害防止対策のため、水田へ牛の放牧に取り組んでいます



牛が牧草を食べている風景

福井市冬野町において、平成27年8～9月に畜産農家と連携し、地域ぐるみで水田への牛の放牧を開始しました。水田地帯への放牧導入は、耕作放棄地の解消や水田の有効活用のみならず、除草剤を使用しないことから、生物多様性により影響を及ぼし、地域の環境保全に大きな役割を果たしています。また、牛の放牧により、冬野集落の獣害防止対策にもなっています。一方、畜産農家にとっては、牛の飼養の省力化や飼料コスト低減が図られています。今年度は、さらに放牧地面積を拡大し、5月から放牧を開始し、放牧期間を延長しています。

編集後記

夏本番で暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。休憩の時に上記で紹介しているミディトマトのような地元で作られた野菜を味わってみるのもいいですね。今年度も旬な話題を提供できるように努めていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。



発行: 福井農林総合事務所
〒910-8555 福井市松本3丁目16-10
(福井合同庁舎内)

TEL 企画振興室(直通) 0776-21-8201
農業経営支援部(直通) 0776-21-8207
林業部(直通) 0776-21-8213
農村整備部(直通) 0776-21-8216

E-Mail: fuku-noso@pref.fukui.lg.jp

F-mail

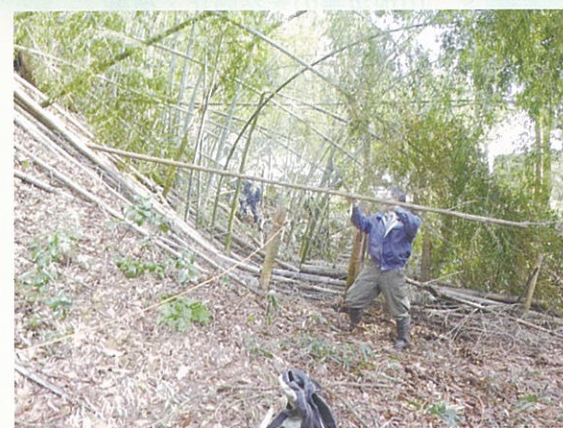
No.50
平成28年7月21日号



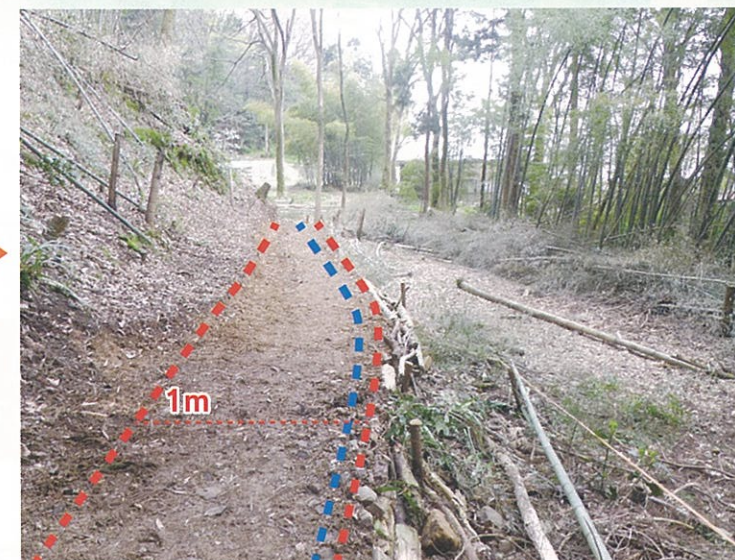
福井農林総合事務所だより

事例紹介

住民全参加でイノシシ対策に成功(福井市下市町)



作業前



作業後
- - - 管理道の幅
- - - 電気柵設置予定ライン

○集落ぐるみのイノシシ対策を実施するまで

下市町では、平成21年に一部の田畑周囲にのみ電気柵を設置しましたが、被害を減らすことができませんでした。このため、より高い効果が期待できる、集落山際への電気柵設置を行いました。

○「歩くのが楽しくなる」管理道を作る

電気柵設置中は毎週1回以上の点検を行います。集落住民が積極的に対策に取り組めるように、道幅1mの「歩いて楽しい」管理道を作ることにしました。

○集落リーダーの姿がすべての住民の心を動かした

管理道作りは、最初は集落リーダー数名の手作業で始まりました。しかし、その姿を見た他の住民が次々に作業に加わり、最終的に集落全戸が参加し完成しました。

電気柵が完成した後は、住民全員参加による毎週1回の電気柵点検・管理を行い、農作物被害はありませんでした。

○まだ間に合う！電気柵管理のチェックポイント

- ・正しく電気柵を設置していますか？
 - ①電線の高さは地面から20cm刻みの2段張り ②電圧は4000V以上
 - ③イノシシの足が土に触れる場所に設置
 - ・見回りは週1回以上で、電圧チェック、電線に触れている障害物の除去は必ず行っていますか？
- ※上記を集落全体で取り組むようにしましょう。個人での取り組みには限界があります。

平成28年6月17日(金)

山林保全(山地災害および山林買収)

監視モニター研修会を開催しました!



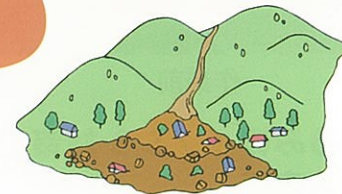
今年は旧越前村・清水町の17名のみなさんに参加して頂きました。

健康の森温泉生きがい交流センターにおいて各地域のモニターの皆様を対象に「山林保全(山地災害および山林買収)監視モニター研修会」を開催しました。

山地災害の未然防止・被害軽減を図ることを目的に、モニターの皆様の山地災害に関する知識を深め、防災意識を高めるために毎年開催しています。



山林保全監視 モニターってなに?



山林保全監視モニターとは?

森林および山間農耕地に起因する災害を未然に防止するため、山地災害に結びつく恐れのある情報等を収集し、住民の皆様に対する防災意識を高めるための役割を担う方です。

どんなことをするの(業務内容)?

- ①山地災害などに関する情報の提供
- ②山林買収に関する情報の提供
- ③山林や水源の保全に関する意識の啓発に努めていただきます。

不審な者から山林の買収をもちかけられた!

家の裏山が崩れそう!



【山地災害を発見した場合の連絡先】

- 福井市 農林水産部林業水産課 ☎0776-20-5430
- 永平寺町 農林課 ☎0776-61-3947
- 県 福井農林総合事務所 林業部事業課 ☎0776-21-8214



九頭竜川下流域農業用水 パイプライン通水記念式典が行われました

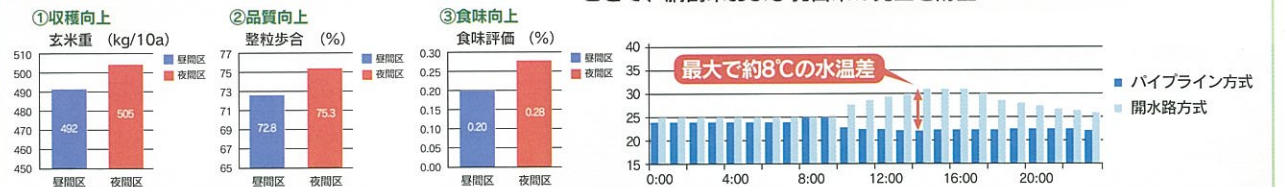
この事業は平成11年から実施され、11,642haの農地のために総延長54.8kmのパイプラインを整備しました。本地域では施設の老朽化、用水配分の不均衡、塩害の発生、夏場の用水不足といった課題があったため、老朽化したコンクリート開水路をパイプライン水路にしました。これにより地形の高低差を利用した自然の水圧を有効に活用し、水を無駄なく利用することができることから、塩害や水不足で苦しんでいた新たな農地を含めて用水の再編成を行いました。



◀通水記念式典は平成28年6月2日に鳴鹿堰堤管理事務所で行われ、西川一誠福井県知事や小林厚司北陸農政局長、関係市町の首長らが出席し、モニュメントのテープカットで完成を祝いました。

●営農の方針

水田地域 夜間かんがいによる米の品質向上 ●パイプラインの冷たい水を夜間にかん水し、水田の温度上昇を抑制することで、胴割米および乳白米の発生を防止



大規模経営体の育成

●40ha規模の集落営農組織や100ha規模のメガファームの育成



集落園芸による露地野菜の生産拡大

●農地の集積による集落営農組織化と合わせ、ネギ、キャベツの機械化・大規模生産



坂井北部丘陵地 加工業務用野菜の生産拡大と企業家支援

- ニンジン、キャベツ等の加工業務用野菜の大規模・契約栽培
- ふくい園芸カレッジの活用による、県内外新規就農者の育成と企業家支援



三里浜砂丘地 フルーツ野菜とラッキョウの生産拡大

- ミディトマトやメロン等と冬季の軟弱野菜を組合わせた長期出荷体制の確率
- アスパラガスなどの新規品目の導入と生産拡大
- 省力機械の導入とあわせ、ラッキョウの生産拡大

